

課題名：腎管状嚢胞癌との対比による乳頭状腎癌画像所見の検討 について

○ 研究の意義・目的

腎管状嚢胞癌については、稀な疾患であることから、その診断については専門医であっても困難な状況です。稀な腎管状嚢胞癌と類縁といわれている、乳頭状腎癌は比較的頻度が高く、これらの類似点、相違点を解明することで、今後の診断（とくに画像診断）に活かすことが出来る様、この研究を計画しました。

○ 研究対象者

平成17年1月1日から平成26年12月31日までに、広島大学病院 泌尿器科において、乳頭状腎癌と診断された患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は身長、体重、性別、血液検査（血清Ca、血清LDH、CRP等）、CT、MRI画像データ等です。

（個人が特定出来る情報は転記しません）

○ 研究期間 平成28年12月7日（委員会承認後）～平成30年6月30日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5257

広島大学病院 放射線診断科 教授 栗井 和夫（研究責任者）

助教 本田 有紀子（担当者）